

発行所
長野県保険医協会
〒380-0928長野市若里1丁目-5-26
電話 026 (226) 0086
FAX 026 (226) 8698
E-mail nagano-hok@doc-net.or.jp
年間購読料 3,600円 (会員の購読料は会費に含まれています)



2015年 (平成27年) 9月25日
No. 4 1 5 (毎月1回25日発行)
(1990年6月22日第三種郵便物認可)
主な記事
「ゼロ税率」要求で務台議員と懇談...2面、
協同組合ニュース...3~4面、歯のなんでも
相談内容...5面、理事会便り/保険かわら版
他...6面

安保法案に反対する運動 国会10万人・全国100万人大行動に参加

8月30日に戦争法案の廃案と安倍政権の退陣を求める「国会10万人・全国100万人大行動」が行われた。これは、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会が主催したもので、全国各地で同時行動に取り組んで欲しいと呼び掛けられたもの。長野県保険医協会は国会議事堂周辺での行動に、鈴木会長、林常任理事、事務局3名が参加した。主催者によると国会周辺に12万人が集結し、全国1000カ所以上で数十万人の人が一斉に行動に立ち上がったという。

参加者はそれぞれ「戦争させない」、「安倍やめろ」、「No War」、「憲法守れ」などと書いたプラカードやのぼり旗を掲げ、国会議事堂を取り囲み、法案の廃止や安倍政権の退陣を強く求めた。

当日は若者が先頭を切ってシュプレヒコールの音頭をとっていた。それに

のって子どもから大人もみんなで「戦争法案絶対反対！」を訴えた。

当日参加した林常任理事は「今回のデモは参加している人がとても穏やかで、大声で

長野協会で取り組んでいる「安全保障関連法案に反対する 医師・歯科医師 アピール賛同FAX署名」に寄せられた医師・歯科医師の声の一部を紹介する。

「この法案に賛成するなら文字通り命をかけて賛成して欲しい。その覚悟がないならば反対して欲しい。覚悟がなくて賛成する人は、必ず他人の命を



林常任理事

けようとする。」
「女性として、母親として、息子が、孫たちが自分の意思とは無関係にむざむざ第二次世界大戦のときの特攻隊のように無駄死にさせることは決してさせてはならないし、してはいけないことです。」



各自の思いをプラカードに掲げ、国会に向けて訴えた

長野県でも個別指導の弁護士帯同が実現しました 帯同費用の補助は残り3名分

以前本紙で個別指導の弁護士帯同費用を今年度に限り全額補助することを紹介したが、この度本制度を利用し医師・歯科ともに弁護士帯同が実現した。

これは今年度に限り長野協会から紹介する弁護士を個別指導に帯同させる費用を先着5名に限り全額補助するというもの。帯同費用は1回5万円(税

別)で、事前打ち合わせ1回分及び交通費を含む。

今回、帯同を依頼した先生は、精神的安定のため帯同を希望した。実際帯同した感想として、「指導前後、休憩時間にもお話をいただき、リラックスできた。今後も個別指導の際には帯同を希望したい。」としている。帯同をご希望の会員は協会まで。

まるで既成事実のようにカジノ入館証が語られている、マイナンバーありきとなっている。多くのマスコミメディアもまたその一部が始まったばかりなのに、すでに東京オリンピックに焦点を当てて、個人個人が番号化され絶対の国民統制のもとに管理される夢の世界を語っている。各個人が属する企業、組織の管理者は疑う余地もなく、その準備を進める羽目になっている。ナンバー漏えいリスクも成りすましもうやむやにされたまま個人番号カードは無料で手に入ると宣伝されている。仕方がない、義務なんだから、従業員に対してこの忌まわしき番号制度に対する説明会を行った。しっかりと、政府広報担当の「マイナちゃん」の映像も見せたのに、スタッフの反心は意外にも、マイナンバーの提出を拒否してき

第4回地域・団体代表者会議

長野県社保協

8月29日、長野協会も団体加盟している長野県社保協第4回地域団体代表者会議が松本市で開催された。記念講演は長友薫輝氏による「国保都道府県化は何をもたらすのか～そのねらいとたたかいの課題～」と題した国保学習会を開催。(詳細は2面を参照)その後、地域・団体代表者会議が行われた。参加者は、講演会には地方議員を含め58名、代表者会議には、4地域、10団体から33名の参加があった。

代表者会議では湯浅事務局長から基調報告がされ、

それを受け3地域5団体の代表者8名から発言があった。基調報告では、安倍政治が強行され、権力側と国民各階層との激突状態が続く中、1)政治情勢や社会保障制度の変化を学習し、認識を一致させる。当面、戦争法案の廃案をめざす活動に全力を挙げる。2)医療介護などの制度改革による自治体への影響を監視し、更なる改革を許さない全国課題の活動方針を確認。3)「子ども・障がい者の医療費窓口無料化」実現など新たな県民運動を起こす活動方針を確認。4)「自治体キャラ

バン行動」の活動方針を確認。5)県社保協への結集強化、地域社保協の活動強化。再開、新規立ち上げなどを目指す、などの活動方針を確認した。

協会からは林常任理事が「特別養護老人ホーム入所者への医療の実態調査(中間まとめ)」を報告した。今年4月の介護報酬改定の引き下げられた影響について聞いたところ、7割以上の施設で4月の介護報酬請求額が3月に比べて減少したと回答。減少した額は50～100万円と回答した施設が最も多く、一番金額が大きいところでは300万円以上と答えた施設もあり、今回の介護報酬の引き下げは施設の存続に関わる大きな問題であることが分かった。

民医連から「国保短期証患者の実態調査報告(中間報告)」、難病連から「難病患者の医療費助成をめぐる問題」、県推協から「窓口無料化実現、国連障害者権利条約の実効迫る活動」、県教組から「教師の過労死基準を大幅に超える長時間過密労働の実態」、飯伊地域から「今年度も当該地域自治体に向けた自治体キャラバンの実施」、長野地区から「介護問題での実態調査活動、長野市議選立候補者への公開アンケート活動」、諏訪地方社保協から「活動再開以降、3回の連続学習会を開催した」との報告があった。

県民公開講座

いい歯と健康

長野協会も加入している「保険でより良い歯科医療を」長野連絡会は11月8日、長野市にて“いい歯と健康”と題し、県民公開講座を行う。詳細については本紙と同封しているので、確認されたい。患者さんや県民に対し、広く呼びかけをお願いしたい。ご協力いただける場合は、協会まで。

日にち：11月8日(日)

時間：13:30～15:00 「食育」は歯・口の健康から～生涯を通じておいしく食べるために～

講師 宮沢 裕夫 先生

15:00～16:30 歯科医師によるお口の相談
歯科衛生士によるブラッシング指導

詳しくは同封のチラシをご覧ください
保険医年金制度 募集開始

鶏声

心からお悔やみを申し上げる。我が家のすぐ前に防災スピーカーができたのは今年の春だった。毎日定期的に発信テストと称してチャイムが鳴る。この大音量に慣れるのにしばらく時がかかった。こんな大きな音なのに聞こえなかったとか、それほど気にしなかったとか、いずれにせよ堤防決壊前後の避難指示に幾多の問題があると指摘されている。つい先日防災の日を過ごしたばかりなのに、日常の危機管理の難しさを改めて考えさせられる。大地震に対する想定はあっても、それ以外には思いもよらなかったのか。おおよそ最後は自己判断ということになってしまつたかもしれぬが、それまで行政は十分な説明責任と議論、話し合いを果たしてきたと言えるのだろうか？

まるで既成事実のようにカジノ入

館証が語られている、マイナンバーありきとなっている。多くのマスコミメディアもまたその一部が始まったばかりなのに、すでに東京オリンピックに焦点を当てて、個人個人が番号化され絶対の国民統制のもとに管理される夢の世界を語っている。各個人が属する企業、組織の管理者は疑う余地もなく、その準備を進める羽目になっている。ナンバー漏えいリスクも成りすましもうやむやにされたまま個人番号カードは無料で手に入ると宣伝されている。仕方がない、義務なんだから、従業員に対してこの忌まわしき番号制度に対する説明会を行った。しっかりと、政府広報担当の「マイナちゃん」の映像も見せたのに、スタッフの反心は意外にも、マイナンバーの提出を拒否してき

た(卵)